

# 危険な 空中給油機 KC-46A

12月20日、12月定例市議会が終了しました。本会議で定岡敏行市議が、市民交流センター(仮称)の建設と美保基地への新型空中給油機配備について、安田とも子市議が、TPP(環太平洋経済連携協定)の地域への影響と原子力防災について、市民から寄せられた声をもとに質問しました。

## 美保基地配備に反対を

### 定岡敏行市議

定岡市議 「これまでと変わらん」と言われても、日ごろから我慢している住民には「騒音は騒音」だ。ジェット燃料を満タンにして飛び立つ、着陸する・そんな訓練、あるいは実働が毎日のことになり、「事故がおきたら火の海だ」と心配するのは当然だ。市長はどうお考えか。

定岡市議 説明会の参加は実質100名程度。これで終わりにできるか。

中村市長 周知に努めた。今後とも意見はお寄せいただき、最終的には市議会の意見を聞いて判断したい。

## 軍事的対応ではなく 平和的解決にもつと知恵を

定岡市議 周辺諸国とのあ



つれきに、軍事的対応ばかりでは衝突の危険を拡大するばかりで、どう平和的に解決すべきか、もつと知恵を使うべきで、憲法9条を活かした平和的な外交努力に一生懸命になりたいものだ。

## まだ開発中 いまから「安全」の 議論ができるか

定岡市議 KC-46Aはまだ開発中。5月にはC-17など大型空輸機へのテスト飛行で乱気流が発生し、開発期間も延長された。いまから「安全」を前提に配備いいか悪いか議論できるか。

中村市長 KC-46Aの不具合については防衛省に確認してみるのが、いずれにしても議会の意向も確認しながら最終的判断をしたい。

## 米軍と一体の 海外での戦争態勢

定岡市議 KC-46Aの航続距離は9400Km。約100トンの燃料と100人の兵員を積んでインド洋の彼方まで飛べる空中給油・輸送機。「専守防衛」を超えて、昨年強行された安保関連法のもと米軍と一体となった海外の戦争に自衛隊を派兵する態勢整備だ。

中村市長 国の防空体制を全うすることが目的とつかう

12月13日深夜、沖縄本島沖で、給油訓練中の米軍オスプレイ



13日深夜・墜落した米軍オスプレイ (しんぶん赤旗より)

## 沖縄で 空中給油中の重大事故

レイが給油パイプを切断、機体に巻き付き墜落、大破するという重大事故が起きました。KC-46Aはまだ開発中ですから、事故を起こしたのは別な給油機ですが、この日の午後開かれた議員説明会で、定岡市議は「民間機と同じというが、軍用機には運用上の特別な危険性がある」と指摘。防衛省は「しっかりと訓練する(ので安全)」と答えたばかりでした。空中給油の危険性を事実で示した事故です。

## 市の総合計画 重要な欠落が

### 指摘し、可決に反対

この議会では5年間のまちづくりの方向を決める『境港市まちづくり総合プラン基本構想』が提出されました。日本共産党は、「地域の大事な課題となっている貧困と格差にどう向き合うのか、農業、中小企業振興の位置付けがないなど、重要な欠落がある。前期計画のしつかりした総括が必要」と指摘し、可決に反対しました。

## 日本共産党 2016年12月議会報告

この報告は政務活動費で発行しています

2017.1.5  
日本共産党境港市議団発行  
境港市湊町5-5 TEL44-0039

新型空中給油機KC-46A配備のこと、市民会館の建て替えのこと、議員年金のことなど、この議会でも様々なことがありました。ご報告をしたいと思います。市政へのご要望もお聞かせください。寒い折ですが、ぜひ、お出かけください。

## 定岡敏行と安田とも子の 議会報告会



1月17日(火)  
午前10時～  
なぎさ会館

1月16日(月)  
午後2時～  
中浜公民館

1月17日(火)  
午後1時30分～  
上道公民館

1月21日(土)  
午後2時～  
外江公民館

# 原子力災害

## 多くの課題を残す「避難計画」再稼働はありえない

### 安田とも子市議

安田市議 原子力防災避難計画の課題は？

中村市長 段階的避難の周知、バス等の確保や要支援者の避難等がある。

安田市議 原子力災害と地震・津波などが重なる複合災害が起こった場合、いまの防災計画で対応が可能か。

中村市長 被害が拡大した場合の避難経路や避難手段の確保が大きな課題になる。

安田市議 広域避難所の課題は？

木下防災監 受け入れ先の耐震の問題、収容人数の変更などあり、いま、見直し中だ。

安田市議 防災計画がこう

いった現状で再稼働はありえないと判断できるのではないかと判断できるのではないかと

中村市長 避難計画が十分という認識は持つておらず、訓練を繰り返して実効性の高いものにしていくしかないが、再稼働については、原子力規制委員会の適合審査の結果を見て判断をしていく。

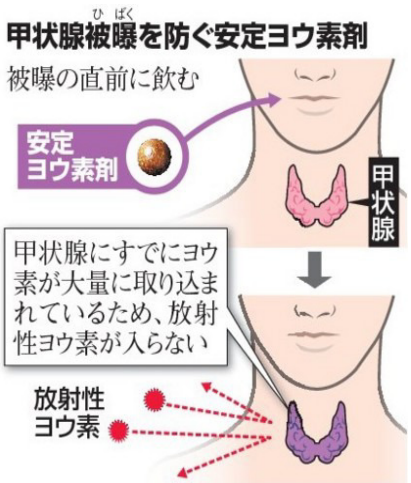
### 市民の声

避難、避難という手段をまだ示せないでいる。無理だからだ。原発を動かさないと決めてほしい。

(60代・男性)

## 甲状腺被ばくを防ぐ安定ヨウ素剤の事前配布を

### 安田とも子市議



必要性や副作用など、きちんと聞けるのも事前配布のメリットだ。副作用の発生率は0.0001%で予防接種の副作用と比べてもかなり低い。前向きな検討を。

木下防災監 安定

安田市議 原発事故時に甲状腺被ばくを防ぐため、島根県は安定ヨウ素剤を島根原発30k圏内の希望者へ事前配布を始めた。鳥取県ではどうか。

中村市長 県と市で防災と医療の担当者が本年度2回の合同協議を行った。基本的には一時集結所で配布する方針とし、事前配布については引き続き協議する。

安田市議 安定ヨウ素剤の



ヨウ素剤を飲むタイミングの問題、副作用の問題などあり、医療のことで行政が大丈夫だというのは難しい。引き続き県、米子市と検討、協議をしていきたい。

## 堅牢で維持しやすいものに

### 定岡敏行市議



プロポーザルで提案された市民交流センター(仮称)のイメージ図(境港市のホームページより)

夫か。より安全側に配慮した構造が必要。

松本教育長 これからの作業だが、私たちも心配している。今後、十分検討したい。

定岡市議 議会としても、堅牢でメンテナンスのしやすいものを要望してきたが、建設費、維持管理費についてのどのような比較検討がなされたか。

松本教育長 建設費については44億円程度とし、省エネ対策や環境配慮も求めている。建設費の積み上げや維持管理費の比較検討は基本設計の中でのことになるが、必要以上に過大なものにならないよう努めたい。

## TPPPのこれから危機感もって対応を

### 安田とも子市議

定岡市議 大きな庇(ひさし)、総ガラス張りという境港市民交流センター(仮称)のプロポーザル案が出たが、地球温暖化でスーパー台風も心配されるなか大丈夫か。

安田市議 臨時国会でTPP承認が強行された。農産物重要5項目を守るという国会決議に反し、交渉経過は一切秘密。日本の経済主権を投げ捨てるもの。米トランプ次期大統領はTPPを批准せず、二国間協議でさらなる譲歩を迫っているとされている。TPPの本市への影響は？

中村市長 主要作物である白ネギへの影響は限定的。県内で合板は6億9千万円程度、水産物は2億2千万円から4億7千万円程度の生産額減少と試算さ

れ、ズワイガニは試算から除外されており影響は不明確。

安田市議 魚食離れの懸念はどうか？地産地消が制限されないか。国の対応は？

伊達産業部長 魚食普及、地産地消はいまままで以上に進めていく。国にはTPPの影響を把握し、国民への説明と競争力強化策を要望する。

安田市議 要望したが叶わなかったでは済まない。TPP離脱も考えるべき。反対を表明している首長もいる。危機感をもって臨んでほしい。

## 国民は年金カット 議員には公費負担増か

### 地方議員の厚生年金加入提案に反対

議員から、『地方議員の厚生年金加入を求める意見書案』が提出され、共産党以外の賛成多数で採択されました。私たちの反対理由は次のようなものです。

意見書案がいう投票率の低下や地方議員のなり手不足は、国民の暮らしを顧みない政治、金権腐敗がもたらす政治不信や月額20万円前後の町村議員の低額報酬の問題で、議会の役割や議員への信頼を広げること、議員報酬のあり方などの議論が先だ。

それを脇において、国民の年金カットが強行され、将来不安が増すなか、公費負担をともなう議員の年金加入では、議会不信がつるばかりだ。